

2年生 家庭基礎 5月7日～5月31日までの課題

課題**1** ～ **3** はプリントアウトして取組みなさい。プリントアウトができない人は、手持ちのレポート用紙やルーズリーフ等を使用して、課題番号が分かるように書きなさい。

用紙の右上には必ず学年、クラス、番号、氏名を記入すること。

(提出用紙が複数枚になる場合は、必ず全ての用紙に記入すること。)

課題**1** ～ **6**の全てのレポートをまとめ、左上をホッチキスで止めて提出すること。

2年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

【課題内容】

教科書P. 28～P. 29を参照し、課題プリントに取組みなさい。

**1** 職業労働と家事労働について、それぞれの特徴として当てはまるものを選択肢から全て選び、記号で答えなさい。

①職業労働 ( )                      ②家事労働 ( )

選	ア	物資・サービスを生産する。	イ	購入した物資・サービスを消費する。
択	ウ	無償労働(アンペイドワーク)	エ	有償労働(ペイドワーク)
肢	オ	自分や家族のために行われる。		
	カ	近年、家庭外で代替する社会化が進んでいる。		
	キ	「共働き世帯」「夫が有業で妻が無業の世帯」のどちらも、妻の費やす時間のほうが多い。		

**2** 日本では、女性の労働力率がP.29資料**5**のように「M字型曲線」になっている。その理由として考えられることを挙げなさい。

また、M字型曲線を解消するためにはどうすればよいか、P.29資料**3**・資料**4**を参考にして考えよう。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

**3 性別役割分業意識について、答えよう。**

(1) 次の文章の空欄に当てはまる言葉を選択肢から選び、記号で答えよう。

日本では、高度経済成長を背景に、1960年代以降「男は仕事、女は家事・育児」という<sup>①</sup>( )が一般化した。生物学的な性別に対して、社会的・文化的に形成される性別を<sup>②</sup>( )という。

1985年に日本が批准した国連の<sup>③</sup>( )では、女性の全面的社会参加の確保や、性別役割分業の見直しなどが盛り込まれている。この条約を受けて、我が国では<sup>④</sup>( )が1986年から施行され、その後の改正で、差別禁止の範囲が拡大し、女性の保護規定が廃止された。さらに、<sup>⑤</sup>( )に対する差別禁止も追加された。

1999年には社会のあらゆる分野の活動に男女が対等に参画することを目指して<sup>⑥</sup>( )が制定された。(⑥)の柱の1つには、家庭生活における活動と他の活動の両立が挙げられている。

男女が共に家庭生活を担うという仕組みを確立するためには、<sup>⑦</sup>( )の短縮、<sup>⑧</sup>( )休業制度や<sup>⑨</sup>( )休業制度、有給休暇などを取得しやすくするなど、職場の改善が求められている。

選択肢	ア 男女共同参画社会基本法	イ 女子差別撤廃条約	ウ 労働時間
	エ ジェンダー	オ 男女雇用機会均等法	カ 育児 キ 家事
	ク 性別役割分業意識	ケ 介護	コ 男性 サ 女性

(2) (1)の下線部について、近年注目されている「ワーク・ライフ・バランス」の意味を答えよう。

( )

(3) ワーク・ライフ・バランスの実現のため、個人、国・地方自治体、企業それぞれがどのような取り組みを行うとよいか考えよう。

①個人	
②国・地方自治体	
③企業	

【課題内容】

教科書P. 31、P. 33、P. 171を参照し、課題に取り組みなさい。  
レポートは手持ちのレポート用紙やルーズリーフ等を使用して下さい。  
用紙の右上には必ず学年、クラス、番号、氏名を記入すること。  
(提出用紙が複数枚になる場合は、必ず全ての用紙に記入すること。)

**4** 教科書P.31のTRYについて、レポート用紙にまとめなさい。

**5** 教科書P.33「私と仕事」を読んで、特に高校生へのアドバイスを参考に、高校卒業後、「仕事」をする上で、必要な力はどのようなものだと考えますか？  
また自分は、今、どのような努力をしているか。レポート用紙にまとめなさい。  
(今、何も努力していないという場合は、今後どのように努力するかを考えなさい。)

**6** 教科書P.171のTRYについてレポート用紙にまとめなさい。  
(**項目7 その職業に就いている人にインタビューをする** を除く)

【提出日】

課題提出日または最初の授業